



教師の発問・行動	児童の活動
T1：2時限目は、教科書159ページに進みます。上段の「歌舞伎」の本文を読みます。(T範読)	(人差し指で読まれているところ指しながら聞く)
T2：次に、先生の後に続いて皆さんも本文を読みます。1時限目の時と同じように、二つのポイント (1) いつの時代に誕生したのか (2) どのような特徴があるか、について書かれているところに線を引きながら読みましょう。	
T3：大変よく読めました。本文の内容をまとめていきます。歌舞伎はいつの時代に誕生しましたか。	C1：江戸時代です。
T4：次に、歌舞伎の特徴には、どのようなものがありましたか。線を引いたところを教えてください。	C2：隈取。
T5：教科書にある写真や黒板にある資料を見ましょう。顔が白く塗られていて、赤い線が入っていますね。歌舞伎はどのような演劇だと、本文の中で説明がありましたか。	C3：音楽や踊りがある。 C4：せりふやしぐさ。
T6：その他にはどうですか。	C5：見得を切る。
T7：歌舞伎の見せ場と言われる大事な場面では、目を大きく開いてにらむ動きをします。皆さんもやってみましょう。目を大きく開いて、斜めに睨んでみる。首も回してみましょう。	(目を見開いた後、クラスメイトの顔を確認して笑い声上がる。)
T8：●●君の目は、こんなに大きく開いていました。上手にできましたね。 1時限目に学習した狂言や能と比べると、似てる部分や異なる部分が見えてきますね。それでは、最後に紹介されている古典芸能は何でしょうか。	C6：文楽。
T9：人形浄瑠璃の文楽です。皆さんは、文楽が生まれた年代と特徴を探しながら、先生の後に続いて読んでください。	(後追い読み)
T10：文楽についてまとめていきましょう。	C7：江戸時代！
T11：わあ、すごい。●●君は、先生が、次にどんな質問をするのかわかっていたのですね。●●くんがいう通り、文楽も江戸時代に生まれました。どのような特徴を持った演劇なのでしょう。	C8：太夫がいる
T12：そうですね、せりふや場面のようなすなどを語る「太夫」という役割があります。	C9：三味線もいる。

<p>T13：はい、「三味線」の伴奏もあります。</p>	<p>C10：人形つかいがいる。</p>
<p>T14：一つの人形を三人で動かします。人形の顔と右手を動かす「主使い」、左手を動かす「左づかい」、そして両足を動かす「足づかい」です。息を合わせないと、なかなか難しそうですね。黒板にある資料も見てみましょう。人形の後ろに、人形を操る人たちがいるのが見えますか。</p> 	
<p>T15：歌舞伎と人形浄瑠璃（文楽）について知りました。何か気づいたことはありましたか。</p>	<p>C11：文楽は人形が主役で、歌舞伎は違う。</p>
<p>T16：良いところに目がいきましたね。それでは、実際に歌舞伎と文楽の映像を見てみましょう。まずは、歌舞伎です。</p>	<p>(動画視聴)</p>
<p>T17：(動画ストップ) 歌舞伎の女形、お姫様役になったつもりで、体の動きを真似てみましょう。</p>	<p>(動画を観ながら肩を小さくすぼめる。体を斜めしてみる。子どもたちから歓声上がる。)</p>
<p>T18：見得を切る動作もしていましたね。一緒にやってみましょう。この歌舞伎役者のように、手と足を広げて、見得を切ってみましょう。</p>	<p>(大げさにやる男子を見て、他の児童が笑う。)</p> 
<p>T19：わあ、すごい！本当の歌舞伎役者みたいだね。次に見てもらう映像は、文楽です。(動画を一時停止) これが「太夫」、これらが「三味線」ですね。</p>	<p>(動画視聴)</p>
<p>T20：(動画を一時停止) 人形の後ろに人がいるのが見えますか。人形つかいです。黒いマスクに黒い洋服を着ている人もいますね。</p>	<p>C12：黒子だよ。</p>
<p>T21：●●君は、よく知っていますね。</p>	<p>(動画視聴)</p>
<p>T22：何か、動物が出てきましたね。本物の動物のような動きですね。(動画終了)</p>	
<p>T23：三味線の音も響き渡って、すごい迫力でした。それでは、皆さんも文楽に挑戦してみましょう。ただし、映像で見たような素敵な人形は持っていないので、この人形(木製人形)を使ってもらいます。</p>	<p>C13：わあ！ C14：なんか、すごい。</p>

<p>T24：ここに場面カードがあります。3人で一組になって、場面カードに指定された場面の様子が分かるように、この人形の頭、腕、足を動かします。見ている人は、どのような場面なのか、人形の動きから考えて、教えてください。</p> <p>最初に、人形を動かしたい人いますか。</p>	<p>(全員が手を挙げる。)</p>
<p>T25：●●さんと、●●君と、●●君。</p> <p>●●君は、次にやってもらいます。今は、答える側にいてください。(場面カードをトランプのように裏返して、児童に引かせる)</p>	<p>(カードを1枚引く)</p>
<p>T26：向こうに見えないようにしてね。(小さな声で)「ご飯を食べている時の場面」です。誰が、首を動かすのかな。足はどうしますか。</p>	<p>C14：ぼく、足にする。</p> <p>C15：じゃあ、私、頭を動かすね。</p> 
<p>T27：準備はいいですか。お願いします。</p>	<p>(ご飯を食べているように、木製人形を操る)</p> <p>C16：ううん。あ、なんか食べてる！</p>
<p>T28：正解です。ご飯を食べている場面でした。次は、●●さんと●●君が交代しましょう。カードを一枚引いてください。</p>	<p>(1枚引く)</p> <p>C17：これ、何ですか。</p> 
<p>T29：(小さな声で)「リレーで走っている場面」です。どういう風にするか、話し合ったかな。お願いします。</p>	<p>C18：はい。</p> <p>C19：大丈夫。</p> <p>(木製人形の腕と足を大きく振り、走る様子を表す。首も前後に動かす。)</p> <p>C20：走ってるところだ！</p>
<p>T30：よくわかりました。文楽の人形つかいのように、息がぴったりでしたね。人形が本当に走ってるみたいだった。それでは、●●君と●●さんが交代しましょう。最後のカードを引いてください。</p>	<p>(カードを引いて、隣に立つクラスメイトに囁く)</p> <p>C21：これ、何て書いてありますか。</p>
<p>T31：(小さな声で)「盆踊りを踊っている場面」です。準備はいいですか。</p>	<p>(木製人形のそれぞれの部位を動かす担当者が自然と決定し、上手に人形を操り始める。)</p> <p>C22：えっと、踊ってる？</p>
<p>T32：すごい！なんの踊りかわかりますか(盆踊りの練習に使用した音楽を口ずさむ)。</p>	<p>C23：知ってる、知ってる！盆踊りだ！</p> <p>(歓声と拍手が上がる)</p>
<p>T33：皆さん、大変上手に人形を動かすことができましたね。今日、学習したことを振り返りましょう。</p>	<p>(振り返りを書く)</p> 
<p>T34：まず、●●君の感想を伝えますね。「狂言体験での、笑う・泣く・怒るの感情を表現するレッスン</p>	<p>C24：能で使われる能面の表情が豊かで、ぼくには少し怖いと思った。</p>

<p>が一番楽しかったです。」でした。しっかりと、自分の意見を持つことができましたね。</p> <p>次に、発表してくれる人はいますか。●●君、お願いします。</p>	
<p>T35：どうもありがとう。そうですね、あの鬼の面なんか、とても恐ろしい顔をしていますよね。</p> <p>次は、●●さん、発表してください。</p>	<p>C25：今日の国語クラスが一番楽しかったです。人形浄瑠璃のゲームが my favorite (大好き) でした。</p>
<p>T36：いろいろな体験ができて楽しかったですね。それでは、最後に●●君、発表をお願いします。</p>	<p>C26：僕は古典芸能の授業をしました。その時に、僕は楽しいことを二つしました。一つは能です。なぜなら、カオナシのお面で表情を答えるゲームだったから。二つ目は、人形で文楽をやりました。</p>
<p>T37：皆さんがこの古典芸能を楽しく学べてとても良かったと思います。今日学んだ四つの古典芸能には、何がありましたか。</p>	<p>C27：狂言。 C28：能。 C29：歌舞伎。 C30：人形浄瑠璃の文楽。</p>
<p>T38：この四つは、長い時間をかけて今に伝えられてきたものです。皆さんには、今日学んだことを、お家の人にしっかりと伝えてもらいたいと思います。</p>	